

# 会 報

鹿児島県中学校技術・家庭科教育研究会  
URL <http://ajgika.ne.jp/~kagoshima/>

## あ い さ つ

鹿児島県中学校技術・家庭科教育研究会  
会長 南 信 一

30年続いた平成が終了し、新しい時代令和がスタートしました。その記念すべき年に、中学校では新学習指導要領への移行措置がスタートし、令和3年度の完全移行が迫ってきています。

新学習指導要領では、小学校にプログラミング教育が取り入れられ、中学校の技術・家庭科で、「ネットワークを利用した双方向コンテンツのプログラミング」について取り扱うことになっています。

平成元年度の学習指導要領改訂に伴い技術・家庭科に「情報基礎」が誕生してから30年、教科の指導内容も大きく様変わりしています。あの頃、「技術科が生き残るためには、パソコンを教えることを避けては通れない」「パソコンとはいったい何者?」「いまさら BASIC を覚えて、指導しないとイケないのか?」など、様々な感想が飛び交っていました。とにかく相当な熱気を含みながら、情報基礎を指導するために、技術科教師が懸命に取り組んでいたのを懐かしく思います。生徒に教えるために、何10万もするパソコンを自費で購入したり、パソコンに関する研修があれば、多くの人が参加を希望したりして必死にパソコンと格闘している姿がありました。

そして、生徒がブラインドタッチやBASICに夢になっている姿を見て、指導者としての喜びも感じることができました。

時代は進み、間もなく新学習指導要領の完全実施が近づいています。主体的・対話的で深い学びをキーワードとして、各教科の「見方・考え方」「育成する資質・能力」等が新たに示され、授業の進め方についても、質的転換を迫っているようです。これから技・家教育はどうすればよいのか、課題が山積みになっている状況です。それに加え、技術・家庭科を専門とする教員の減少も、大きな問題となっています。

そのことに対して本研究会では、まずは、授業の質を向上させるのが第一と考え、今年から「創造アイデアロボットコンテスト」や「豊かな生活を創るアイデアバッグコンテスト」等の意義は認めつつ、中止について協議していくこととしました。

けれど、人数だけの問題ではなく、一番大切なのは我々教師の思いです。30年前のあのときの熱気に負けまいよう、県内の技術・家庭科担当者が一丸となり、授業改善を推進し、この難局を乗り越えて見せましょう。

## 第64回鹿児島県中学校技術・家庭科教育研究大会を終えて

日置地区

### 1 はじめに

令和元年度鹿児島県中学校技術・家庭科教育研究大会を日置地区が担当しました。多くの参加をありがとうございました。

本地区は、小規模・中規模の学校が多く、期限付教諭、非常勤講師、臨時免許の保有者の割合が非常に高くなっています。県大会に向けての準備を通して、技術・家庭科に関わる先生方が、専門教科の枠組みを超えて共に活動できたことは、1つの大きな成果につながりました。研究授業においては、4つの「授業設計の視点」を深く掘り下げ、指導案検討や模擬授業を重ね、実りあるものにすることができました。大会運営につきましては不十分な点もあったと思いますが、参加された皆さんの御意見を参考に、本地区の技術・家庭科教育の発展につなげたいと考えております。多くの御参加と御協力をいただき、ありがとうございました。

### 2 研究大会内容について

- ①日時 令和元年 11月 15日(金) 10:00~16:30
- ②会場 日置市立 伊集院中学校
- ③研究授業
  - <技術分野> 授業者 鶴田 等 教諭  
授業内容：「B エネルギー変換に関する技術」
  - <家庭分野> 授業者 羽生 和子 教諭  
授業内容：「A 家族・家庭と子どもの成長」
- ④授業研究
  - <技術分野>  
司会 日置市立伊集院北中学校 池田 友樹 教諭  
記録 いちき串木野市立串木野中学校 若松 秀徳 教諭
  - <家庭分野>  
司会 出水市立出水中学校 楠原 里奈 教諭  
記録 いちき串木野市立串木野中学校 折田 美和子 教諭
- ⑤研究発表
  - 発表者：肝付町立高山中学校 幸田 夏美 教諭  
内容：「指導計画の工夫を通じた肝付地区の教科教育の充実」
  - 発表者：日置市立吹上中学校 税所 賢太郎 教諭  
内容：「社会とのつながりを意識した計測・制御における指導計画と題材の工夫」
  - 発表者：鹿児島市立松元中学校 柿元 慶子 教諭  
内容：「学びを生かし合い、よりよい生活を工夫し創造する力と態度を育む技術・家庭科教育」

## 研修会だより

## 総務部

### 1 夏季研修会

(1) 日時 令和元年 8月 2日(金)

(2) 会場 鹿児島市立 吉田南中学校

#### <技術分野>

(3) 参加人数 17人

(4) 内容

- ① 実技研修：『プロッチを用いた計測・制御について』  
講 師：山崎教育システム株式会社

#### <家庭分野>

(3) 参加人数 25人

(4) 内容

- ① 実技研修：「児童養護施設」見学と概要  
講 師：社会福祉法人向陽会「たらちね学園」

(5) 技術・家庭科共通

- ① 「つなげば便利！テレビ会議システム」  
② 県大会 指導案検討及び研究発表検討

### 2 冬季研修会

(1) 日時 令和2年 2月 8日(土)

#### <技術分野>

(2) 会場 鹿児島市立 西紫原中学校

(3) 参加人数 13人

(4) 内容

- ① 研修1：「新学習指導要領に向けての評価のあり方」  
講 師：県総合教育センター

上栗 博文 先生

研修2：「プログラムによる計測・制御」

講 師：日置市立 吹上中学校

税所 賢太郎 先生

(5) 参加者の感想

- ・ 評価規準の考え方が分かったのでよかった。  
各学校で、評価の実践例を提示して欲しい。

#### <家庭分野>

(2) 会場 武・田上公民館

(3) 参加人数 51人 (中高連携)

(4) 内容

- ① 講 話：「C消費生活・環境の学習指導の工夫」  
講 師：県消費生活センター消費生活相談支援員  
有山 まり子 先生

研 修：「新学習指導要領に向けての評価のあり方」

講 師：県教育庁義務教育課

新福 敦子 先生

(5) 参加者の感想

- ・ ロールプレイングや、川柳づくりがとても楽しく、勉強になりました。授業に取り入れたいと思います。



昨年度は、第68回県研究大会(日置地区大会)並びに県作品展が、11月15日に日置市立伊集院中学校を会場として行われ、県内の会員、約100名に参加していただきました。内容の濃い研究授業・研究発表・研究協議が展開され、鹿児島地区の先生方に深く感謝申し上げます。

また、第19回ロボコン県大会(鹿児島玉龍中)、第13回アイデアバッグコンテスト県大会、第13回ものづくり競技大会(かごしま文化工芸村)に多くの参加をいただき、盛会のうちに終了することができました。さらに、第20回ものづくり競技九州大会が同会場で行われました。

本年度は、第69回県研究大会(肝属地区大会)が、11月17日に鹿屋市立田崎中学校(技術分野・全体会会場)、鹿屋市立第一鹿屋中学校(家庭分野会場)の2会場で開催されます。例年同様、県内の先生方のご支援、ご指導をよろしくお願い致します。

## お知らせ

1 県版学習ノートを多くの学校で採用していただいております。来年度も採用の検討をよろしくお願いいたします。なお、新学習指導要領に合わせた改定は再来年度を予定しております。

2 研究誌「技術・家庭」をHPに掲載しております。この研究誌は、本県技術・家庭科の先生方の研究を掲載しております。本県の先生方の参考となりますよう研究(研究論文)あるいはグループ研究等ございましたら是非掲載にご協力ください。

3 第33回 鹿児島県中学校技術・家庭科作品展を11月15日(金)日置市立伊集院中学校にて開催しました。授業や長期休業中の生徒・教師作品の多数の出品ありがとうございました。※結果はHPに掲載

なお、入賞作品は、申請すれば「ものづくり検定」で級を取得することができます。詳細は、HP内の「中学生ものづくり技能検定制度規定」を参考にさせていただきます。

#### <問い合わせ・連絡先>

◆〒890-0045 鹿児島市武三丁目42番1号

鹿児島市立武中学校 福永 准也

TEL (099) 255-5171

FAX (099) 255-5172

Email c211jfuk@keinet.com